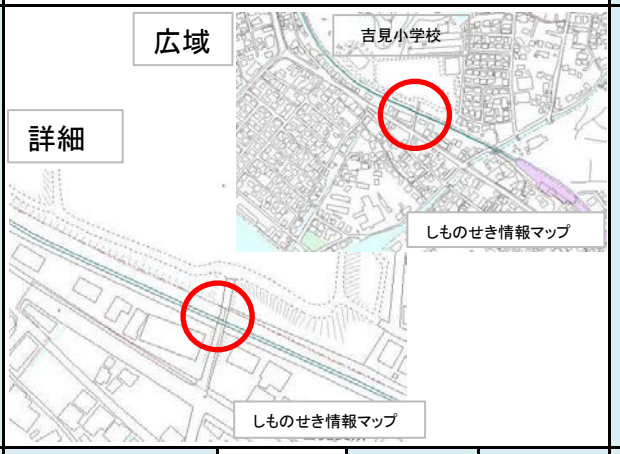
# 踏切安全通行カルテ

中国－44

| よみがな | おざき | 道路名 | 吉見新町22号線 |
|---|---|---|---|
| 踏切道名 | 尾崎 | （道路管理者名） | 下関市 |
| | | 鉄道路線名 | 山陰線 |
| 所在地 | 下関市大字吉見下字西田2984-13 | （鉄道事業者名） | 西日本旅客鉄道 |

地図（広域及び狭域）




写真（現況及び対策後）

## 諸元・構造等

| 踏切種別 | 第1種 | 幅員(m) | 歩道部（起点寄） | 車道 | 歩道部（終点寄） | 交通規制（車両進入防護柵等） | C規制 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 踏切長(m) | 6.0 | 左道路 | 0.0 | 3.0 | 0.0 | 歩車道分離方法 | なし |
| | | 踏切道 | 0.0 | 3.0 | 0.0 | 拡幅指針の該当：歩道のみ拡幅の場合 | ○ |
| 横断本数(本) | 1 | 右道路 | 0.0 | 3.0 | 0.0 | 拡幅指針の該当：歩道+車道2車までの拡幅の場合 | － |
| 交差角(度) | 80 | 迂回路（歩行者） | 直近の迂回路 | 距離(m) | | 迂回路(自動車) 種類 | 距離(m) |
| | | | その他 | 159 | | 両方共なし | － |
| 道路線形 左道路 | 直線 | | 直近のBF化迂回路 | 距離(m) | BF化状況 | 通学路指定状況 | 有り |
| 道路線形 右道路 | 直線 | | － | － | － | | |

## 緊急対策踏切の区分及び基準算定データ

| 開かずの踏切 | － | ピーク時遮断時間(分) | 通学路要対策踏切 | ○ |
|---|---|---|---|---|
| | | － | | |
| 自動車ﾎﾞﾄﾙﾈｯｸ踏切 | － | 踏切自動車交通遮断量(台・時) | 事故多発踏切 | － |
| | | 244 | | |
| 歩行者ﾎﾞﾄﾙﾈｯｸ踏切 | － | 踏切歩行者等交通遮断量(人・時) | 踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和 | |
| | | 1,058 | 1,302 | |

| 歩道狭隘踏切 | － | 前後道路の車道幅員(m) | 前後歩道との幅員差(m) 起点寄(左) | 終点寄(左) | 自動車交通量（台/日） | 歩行者交通量（人/日） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 左道路 3.0 | 0.0 | 0.0 | 174 | 643 |
| | | 右道路 3.0 | 0.0 | 0.0 | | |

## 踏切内の事故発生状況（過去5年）

| 事故別 | 件数 | 死者数 | 事故発生年：事故履歴 | 地域・利用者からの要望等 |
|---|---|---|---|---|
| 踏切事故 | 0 | 0 | － | 通学路に指定されているが、踏切に歩道がなく大変危険な状況であり地元ＰＴＡや通学路プログラム等から拡幅要望あり |
| 道路交通事故 | 0 | 0 | － | |

## 踏切保安設備設置状況

| 賢い踏切 設置の必要性 | 有無 | 設置年度 | 踏切支障報知装置（手動） | 高規格保安設備 障害物検知装置 | ｵｰﾊﾞｰﾊﾝｸﾞ型警報装置 | 大型遮断装置 | 二段型遮断装置 | 法指定の状況 計画種別 | 構造の改良 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | 指定年 | S46 |
| | － | | ○ | － | － | － | － | 対策状況（完了年） | － |

## 対策実施状況（H17年度以降）

| 当該踏切を除却する対策 | | H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策※） | | |
|---|---|---|---|---|
| － | 除却年度 － | － | 完了年度 | H32 |

## 今後の対策方針 対策推進上の課題

踏切内に歩道がないため通学児童をはじめとする歩行者と車両の接触が懸念される状況。道路管理者において、踏切拡幅（歩道設置）を検討し、平成28年度より鉄道事業者と協議を開始し平成32年度までに踏切拡幅実施を目標とする。

## 備考（協議状況等）

※）平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。